

(様式1)

平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立イタイイタイ病資料館 健康課

2 施設所在地
富山市友杉151番地

3 施設設置年度
平成24年度

4 設置目的
イタイイタイ病が二度と繰り返されることのないよう、貴重な資料や教訓を後世に継承するとともに、困難を克服した先人の英知を未来につなぎ、もって環境及び健康を大切にする県づくりに資することを目的とする。

5 施設概要
鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積 1,209.93㎡ (1階部分683.17㎡、2階部分526.76㎡)
※富山県国際健康プラザに隣接して設置

6 指定管理者
公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間
5年
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
29,144	27,523	28,308	28,313	28,252

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
3	0	3	3	7

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数は横ばい傾向となりつつある。(H30年度入館者数28,252人(対H29年度比△0.2%、61人減)H29年度28,313人、H28年度28,308人、H27年度27,523人)
課外授業での資料館の活用について小中学校等への個別訪問や国際健康プラザにおいて実施している事業で市町村等各種団体へ訪問した際のPRを積極的に実施した結果、団体利用者については一定の利用がある。(H30:8,634人、H29:11,017人、H28:9,365人、H27:9,680人)
今後も国際健康プラザとの連携事業や訪問によるPRを通じて利用者数の増加に努めてもらいたい。
(入館料は無料であり、研修室を専用使用する場合にのみ使用料を徴収。)

(2) サービス向上に向けた取組み

国際健康プラザのバスを活用した無料送迎の実施

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・資料館の見学と国際健康プラザの利用をセットにしたコースを提供
・市町村等各種団体への訪問による普及活動

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	利用者にアンケートを配布。(年4回、各々1週間程度)
回答者数	886人(対象は10名未満の個人来館者)
結果	・年齢: 40代(25%)、小学生(15%)、50代(14%) ・住所: 県内(45%)、関東(19%)、北信越(11%) ・来館のきっかけ 知人・友人(23%)、HP(19%)、テレビ・ラジオ(13%)、パンフレット(10%) ・来館の感想 知人・友人に紹介したい(45%)、 また来館したい(41%)
結果を踏まえた改善事項	より多くの人に来館してもらえるよう、HPやメールマガジンを活用した啓発を行う。また、国際健康プラザ利用者に対しても積極的に案内を行う。

② その他利用者の声を反映させる取組み

受付担当者が見学者に対して、積極的に声かけをして利用者の声を直接把握するよう努めている。

③ 主な苦情と対応

特に無し

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

市町村や各種団体へパンフレットを配布し、利用促進を図っている。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・富山市消防局と連携した防火訓練の実施
- ・R(安静)I(冷却)C(圧迫)E(拳上)処置に関する安全講習会の実施

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	4
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

平成29年度の課題を踏まえ、イタイイタイ病の公害認定50周年の節目に合わせた大規模なイベントの開催など、来館者の増加に向けた取り組みを行ったが、今後とも、経費削減を念頭に業務内容を再点検するとともに、来館者の意向を反映させながら、各種の企画や管理を工夫し、サービスの向上と来館者の増加を図る必要がある。